

令和元年度

第 1 回 本 巢 市 総 合 教 育 会 議 議 事 録

(令和元年 7月 5日)

本 巢 市 教 育 委 員 会

## 第 1 回 本 巢 市 総 合 教 育 会 議 議 事 録

- 1 開 会 令和元年7月5日(金) 午後2時00分
- 2 閉 会 令和元年7月5日(金) 午後3時30分
- 3 会議場所 市役所本庁舎 1階公室
- 4 出席又は欠席した構成員

### (1)出席構成員

市 長	藤原 勉
教 育 長	川治 秀輝
教育委員	汲田 美枝子
教育委員	小澤 明年
教育委員	村瀬 里佳
教育委員	黒田 隆吉

### (2)欠席構成員

なし

- 5 説明のため出席した者の職氏名

市 長 部 局	総 務 課 長	青山 英治
教育委員会事務局	事 務 局 長	溝口 信司
	参事兼学校教育課長	中村 美雪
	参事兼社会教育課長	白木 和雄
	学校教育課総括課長補佐	林 誠司
	社会教育課	
	文化・スポーツ振興係長	高木 寛之

- 6 協議事項

- (1) 市嘱託職員の活用について
- (2) ウオーキング・ランニングのまちづくりについて
- (3) 数学のまちづくりについて

- 7 その他

- (1) 次回開催期日について

開会 午後2時00分

溝口事務局長：開会の宣言。市長にあいさつを求めた。

藤原市長：他市学校でのいじめ問題、子供達に対する交通安全への取組み、学校教育・社会教育の事業の推進について、話をした。

-----

溝口事務局長：協議事項(1) 市嘱託職員の活用について、事務局に説明を求めた。

中村課長：資料及びプレゼンにて説明した。  
(資料『学校の市嘱託員による教育の充実』の説明)

藤原市長：特に理科専門指導員により、学校の先生方が助かり楽になってきている。

川治教育長：理科専門指導員による理科の授業によって、授業の資質向上につながってきている。

黒田委員：前年度まで理科専門指導員として授業を行ってきたが、本巢市では理科施設がしっかり整備され、充実している。良い実験設備が整っている。根尾小学校にある天体望遠鏡を借りて、外山小学校や一色小学校へ運び、授業を行うことができ、良かった。数字には表れないよさがある。

黒田委員：今大学で働き始め、学生と面談した時に、なぜ「英語の教師になろうとしたのか」との問いに、二人の女子学生が本巢市のイングリッシュ・デイズに参加し、子供が喜んでいる姿を見たのが大きな理由であると答えてくれた。

川治教育長：今後は、体育の指導員の導入を検討したい。市内の子供に対する効果が違ってくる。

溝口事務局長：その他に意見がないことを確認した。  
協議事項(2) ウオーキング・ランニングのまちづくりについて、事務局に説明を求めた。

高木係長：プレゼンにて説明した。

川治教育長：金哲彦先生に、遊 RUN のスタート地点である根尾のうすずみ温泉を見ていただいたが、マラソン大会ではこのような雰囲気・景色は全国どこにでもあると言われた。樽見鉄道・樽見駅の場所は、ほぼどこにもない。スタート地点をうすずみ公園にして、ゴール地点を温泉にするとかは考えられる。400人規模のマラソン大会からスタートしてはどうかとの提案を受けた。特色を出さないといけない。近くに、いびがわマラソンがある

ので、同じようなマラソンにしない方がよい。

- 藤原市長 : いびがわマラソンは、人のはり付け、準備が大変である。
- 川治教育長 : あのようなマラソン大会は、参加者の1/3のボランティアが必要である。  
代わりに、根尾でFREE-10を実施してもよいが、根尾ではほぼコースが一緒になってしまう。
- 藤原市長 : 国道を止めないことには、みんな走ることができなくなる。車は渋滞してしまう。
- 小澤委員 : 国道の対岸の淡墨桜から水鳥への道路を走ったと言われたが、あそこは危ない。
- 川治教育長 : 金先生は、何百人でもあの道のアップダウンと道幅の細さは危険であると言われた。  
9月から10月上旬までにいくつかの案を持って、金先生に相談に行く予定である。
- 藤原市長 : 初めから、二千人、三千人規模の大会は、大変である。
- 青山課長 : 5月に、岐阜市の高橋尚子ロードから淡墨桜まで走っているが。
- 川治教育長 : 長良川走ろう会が、任意団体で自分達だけで勝手に走っている。
- 藤原市長 : 根尾の大須方面へ走ってはどうか。ダム湖の周りを走るのはどうか。
- 小澤委員 : 中部電力の許可が得られるのか分からない。
- 溝口事務局長 : その他に意見がないことを確認した。  
協議事項(3)数学のまちづくりについて、事務局に説明を求めた。
- 白木課長 : 資料及びプレゼンにて説明した。  
(資料『本巣市数学のまちづくり事業』の説明)
- 藤原市長 : 今年はどのような数学の遊具を購入したのか。
- 白木課長 : ただいま、選定中である。おおよそ決まっている。
- 川治教育長 : 東京理科大学の秋山仁先生方は、本巣市から1週間位来て一緒に作れば早くできると言われたが、大学側は契約を交わしてからとの言い分である。
- 藤原市長 : 遊具はどこに置くのか。物が多く、くしゃくしゃではないか。  
整理して展示を考えないといけない。
- 川治教育長 : 秋山仁先生のおもしろ体験室は、いつ行っても人でいっぱいで大繁盛である。それは、いつ行っても遊び方の説明をしてくれている。本巣市では、ひとつひとつ、理にかなった説明ができていない。
- 村瀬委員 : 中島さち子さんの数学のまちづくり講演会に二人の息子を連れ

で行ったが、すごく嬉しかったのが1週間後に息子がいろんな問題を出してくるようになってきた。講演会の最中に出された企業の入社試験の問題がおもしろくてはまるようになり、そのことをずっと調べて、家族に出題してくるようになっている。たった1回の講演会がこのように広がるのだと思った。

川治教育長 : 専門家と関わると、知的好奇心がくすぐられて、自らで自らを鍛えるような力を貰えたりする。本物や一流に関わることの意義が大きい。

藤原市長 : 記念室を整理して片づけてほしい。

川治教育長 : 本当は夏休み入る前に遊具を入れると、夏休みに記念室へ子供達を呼び込める。管理している産業経済課と早急に協議を進めるように。

溝口事務局長 : その他質問等がないことを確認した。

-----  
溝口事務局長 : 次回開催日については、2月の開催予定と告げた。

溝口事務局長 : 閉会を告げた。

閉会 午後3時30分